

半導体・液晶関連事業の幅を広げて

「食と癒しと健康」をテーマに第二創業を目指す。

半導体製造の重要プロセスを担う 洗浄装置のユニット組み立て

f-プランニングの日野町と多賀町、それぞれの工場内にあるクリーンルームは、クラス500からクラス100の清浄度が保たれている。「ハイレベルな塵埃管理」とされる極めて高い清浄度だ。ルーム内では防塵服姿の作業員たちが複雑な機械・電装部品を手際よく装置に組み込んでいる。

半導体製造では、ウエハーにわずかな汚れでもあれば不良品になるため、洗浄プロセスが重視される。同社が手掛けているのは、半導体を洗浄する装置に組み込まれるさまざまなユニットの組み立て。洗浄液をコントロールするユニットなど得意としている。

池田定夫社長は34年間勤めた半導体・液晶製造装置の大手メーカーを52歳で退職。「起業して地元へ貢献したい」との思いから、郷里の愛荘町でf-プランニングを2005年に創業した。売り上げのほとんどを占める半導体洗浄装置組立事業は退職した大手メーカーからの仕事だ。洗浄装置を構成するユニットを設計図通りに組み立



半導体洗浄装置の組み立てを行う、高い清浄度のクリーンルーム

てたうえで、デリケートな調整や検査およびエンドユーザーへの搬入も行う。

「半導体の世界は進化が速く、タイムリーにフォローアップできる協力会社は多くはない」と池田社長は話す。「当社では、納期間際の仕様変更にもフレキシブルな作業体制で対応できる。その柔軟な対応力で、得意先の手メーカーから貢献度の高い協力会社に授与される賞を2回も受けることができた」。

従業員の高い作業環境意識が 「ハイレベルな塵埃管理」を実現

半導体業界の最近のトレンドは微細化と効率化。1枚のウエハーにより多くのチップを形成するために、回路パターンの微細化とコストダウンを競っている。必然的にパーティクル(微細な異物)の混入防止が極限まで求められるようになる中で、f-プランニングが以前から取り組んできた「ハイ

レベルな塵埃管理」は大きな強みになっている。

従業員の意識こそが清浄な作業環境を実現させる。そう考えて「整理・整頓・清掃の3S」に努め、「安全衛生委員会による工場内巡回」や「リーダーによる職場改善」などを実施してきた。その結果、クリーンルームでの作業ルールが徹底的に順守され、清浄度を高めることに成功。半導体に関わるものづくりの現場にとって貴重な財産になった。同社では、さらに「ハイレベルな塵埃管理」が求

められ、液晶パネルの製造に使用されるフォトマスク(回路パターンの原板)の搬送ケースの製造も行っている。この分野でも、従業員の高い作業環境意識が強みになったことは言うまでもない。

栽培ノウハウとセットで売る 「植物育成プラント事業」

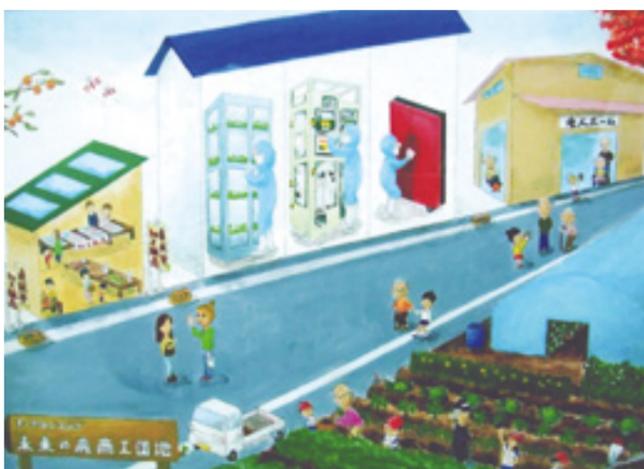
「半導体、液晶ともに世界的な視野で見れば今後も需要は増加する。技術の蓄積で仕事の幅を広げ、生産効率も高めてきた。これら第一創業の事業を拡大しながら、第二創業として事業を創り上げなければと考えてきた」。その第二創業として目指しているのが「食と癒しと健康」をテーマに2012年から始めた「植物育成プラ



栽培ノウハウとセットにした野菜栽培機販売で第二創業の柱を目指す

ント事業」だ。

温度・湿度等が制御された室内で、LED光により栄養価の高い無農薬野菜を育てる。そんな植物工場ビジネスを展開してきた京都のベンチャー企業から、縁があつて人材を引き継いだのが発端だった。池田社長は「工場をつくる安全な無農薬野菜の販売」という在来のビジネスモデルから、「栽培ノウハウとセットにした野菜栽培機の販売」モデルへと転換。「EKEDA」ブランドとして4タイプの野菜栽培機を販売している。家庭で野菜の成長を楽しむ「サテライト」、インテリア性を重視した飲食店やブティック向けの「スタベジ」、レストランの厨房に設置する「デイライト」、本格的な植物工場へ展開できる「ミニベジ」だ。



f-プランニングが描く事業の将来像

海外での植物工場ビジネスへ 中東にシヨールームを開設

2年半前から始めた植物育成プラント事業ではさまざまな野菜を栽培。LED照明機器も手掛けている製薬会社、興和株式会社と提携し、8月に合弁会社、興和アグリテクノ株式会社を設立するなど、それぞれの野菜に適した光源や肥料の開発を進めている。野菜栽培に関するノウハウを蓄えてきた専門スタッフを擁すればこそその取り組みだ。ユーザーが求める野菜に最適な栽培機や肥料を提案できる。そのうえ、長年積み重ねてきたデータに基づく「てんしの光やさい」づくりのさまざまなアドバイスも提供できる。

「安心・安全でおいしい野菜を料理に添えたい」と導入した老舗料亭。植物の放つ輝きをインテリアとして導入したブティックやカフェ。おいしさや美しさを重視するユーザーを中心に、国内での販売数を着実に伸ばしている。

また、中東では9月にシヨールームを開設した。ドバイを中心に周辺諸国への販路開拓の拠点を構築するという。「国内では野菜のコスト競争力が課題だが、中東などではいい野菜をつくる植物工場ビジネスが成り立つだろう。今後、植物育成プラント事業の主舞台は海外になるかもしれない」と、池田社長は今後の展開を描く。

さらに、「リラクゼーション」f-e-e-l-a「も昨年からは長浜で運営。半導体関連事業を基軸に、第三次産業(食と癒しと健康)にも目を向けたf-プランニングの第二創業が本格的に始まった。



Voice 代表取締役 池田 定夫氏

半導体・液晶事業では「提案できる企業」を目指し、植物育成プラント事業では「安心・安全な野菜栽培装置の提供」を。「共存共栄の経営」「信用、信頼こそ利益」の理念でお世話になった地元への貢献に努めたい。

Profile 株式会社f-プランニング



- 本社/滋賀県愛知郡愛荘町安孫子710
- 設立/2005年
- 資本金/5,000万円
- 従業員数/90名
- 事業内容/半導体洗浄装置の組立・電装・調整・検査、据付、液晶基板搬送ケース製造、植物育成プラント事業、リラクゼーション事業

<http://www.f-plan.ecweb.jp/>